

## 平成26年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	宮沢 吉浩
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3254
<b>事務事業名</b>	4126 ごみ減量・再資源化事業										
<b>所 属</b>	140100 環境部・生活環境課										
<b>施 策</b>	03011200 循環型社会の形成										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費									
	<b>事業</b>	030000 ごみ減量・再資源化事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
ごみの減量・リサイクルを推進し、循環型社会の形成を目指すとともに、不法投棄の防止対策を図る。						ごみの減量・リサイクルを推進することにより、循環型社会の形成、老朽化が進む、清掃センターの延命、ごみ処理費用の削減を図る。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成22年度 実績</b>	<b>平成23年度 実績</b>
	市役所前の拠点回収の品目に新たに小型家電を加え、希少金属等の資源化を図った。また、不法投棄を防止するため、パトロールの実施、監視カメラや看板の設置をした。
<b>平成24年度 実績</b>	<b>平成25年度 実績</b>
市役所前の拠点回収、ダンボールでできる生ごみ堆肥化講習会を行なうなど、ごみの減量、資源化を図った。また、不法投棄を防止するため、パトロールの実施、監視カメラや看板の設置をした。	生ごみの堆肥化促進のため、「生ごみ出しません袋」を配付し、生ごみの減量を図った。また、「資源物・ごみ分別早見表」を作成、全戸配付した。また、不法投棄を防止するため、パトロールの実施、監視カメラや看板の設置をした。
<b>平成26年度 予定</b>	<b>平成27年度 予定</b>
継続して、「生ごみだしません袋」の無料配付、資源物の拠点回収、生ごみ堆肥化講習会等を実施し、ごみの減量、資源化に努める。また、不法投棄を防止するため、パトロール等を実施する。	

指標名	可燃ごみ排出量の削減（市民ひとりあたりの年間排出量）				
算式					単位 kg
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	208	202	196	190
	実績	205	203	205	
指標選定の理由	総合計画の目標値				
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値				
指標名	不法投棄の根絶				
算式					単位 件
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	100	95	90	85
	実績	62	45	111	
指標選定の理由	総合計画の目標値				
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

（単位：千円）

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		48,483	52,290
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	27,401	44,625
一般財源	21,082	7,665	
人員数（人）	正規職員	1.8	1.7
	嘱託職員	1.7	1.8
	臨時職員	0.2	0.3
人員コスト	正規職員	12,344.4	11,658.6
	嘱託職員	4,632.5	4,905.0
	臨時職員	235.4	353.1
	計	17,212.3	16,916.7
市民一人当たりの経費	1.3	1.3	
総額	65,695.3	69,206.7	

（単位：千円）

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	5,315	資源回収報償金、謝礼
11節 需用費	3,344	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費（電気料）
13節 委託費	33,355	有価物処理、資源物収集、家庭用選定枝資源化、生ごみ処理、廃食用油処理、陶磁器粉碎処理、環境指導業務、資源物拠点収集立会等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,728	ごみ集積施設・設備整備補助金、家庭用生ごみ堆肥化処理容器購入費補助金、生ごみ処理機購入費補助金
その他	4,741	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	5,320	資源回収報償金、謝礼
11節 需用費	3,351	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費（電気料）
13節 委託費	36,622	有価物処理、資源物収集、家庭用選定枝資源化、生ごみ処理、廃食用油処理、陶磁器粉碎処理、環境指導業務、資源物拠点収集立会等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,825	ごみ集積施設・設備整備補助金、家庭用生ごみ堆肥化処理容器購入費補助金、生ごみ処理機購入費補助金
その他	5,172	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	ごみの減量、リサイクルを推進することにより、循環型社会の形成、老朽化が進む清掃センターの処理負担の軽減が図れた。また、不法投棄を防止するため、パトロールの実施、監視カメラや看板の設置をした。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	ごみの減量、リサイクルを推進することにより、循環型社会の形成、老朽化が進む清掃センターの処理負担の軽減が図れた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	ごみの減量、リサイクルを推進することにより、循環型社会の形成、老朽化が進む清掃センターの処理負担の軽減が図れた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

可燃ごみの多くを占める、生ごみの堆肥化促進のため、「生ごみ出しません袋」を配付し、生ごみの減量を図った。また、「資源物・ごみ分別早見表」を作成、全戸配付し、正しいごみの分別を理解していただくことにより、ごみの減量及び資源化に努めた。また、不法投棄を防止するため、パトロールの実施、監視カメラや看板の設置をした

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>既存焼却施設の維持と広域連合の焼却施設への移管を見据える中で、ごみ減量は喫緊の課題である。市のみならず、市民、事業者が一体となり、更なる減量施策の推進が重要である。</p>		<p>家庭ごみの有料化から4年が経過した。アイデアを凝らし、市民の協力を得て様々な減量努力を重ねて来た。「生ごみ出しません袋」の導入もその一例だが、平成25年度可燃ごみは前年度対比微増となった。一層の啓発等努力が必要。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	